

今週の動き 3月13日～3月19日

- 13 3月定例会最終本会議(採決)
- 14 知事選挙街頭演説(直方駅前)
- 15 民商頓野支部懇談会
- 16 くらしの相談(生活保護)
- 17 シルバー人材センター臨時理事会
- 18 香春町議選告示(出発式参加)
- 19 議会運営委員会(臨時議会)



渡辺かずゆき

活動レポート126

日本共産党

日本共産党直方市委員会が、見解を発表しましたので紹介します。
2025年3月23日 直方市溝堀3丁目3-32 電話(22)5011 FAX (22)3810

◆直方市議会3月定例議会は3月13日に最終本会議が行われ、新年度予算案などすべてが可決され閉会しました。渡辺かずゆき市議が行った一般質問、議案質疑などを順次紹介します。

こども誰でも通園制度～本格実施に向けて制度化 子どもの安全と施設運営は大丈夫!?

3月定例市議会で渡辺かずゆき議員が行った一般質問要旨は以下のとおりです。今回は、「こども誰でも通園制度(仮称)」についてお知らせします。

質問の主な内容

【質問】現在試行的実施中の「こども誰でも通園制度(乳児等通園支援事業)」の令和7年度の制度化と、令和8年度の本格実施に向けたスケジュールはどうなっているか。

【答弁】本事業は令和7年度の子ども・子育て支援法に基づく地域子ども・子育て支援事業として制度化し、実施自治体の拡充を図った上で、令和8年度から支援法に基づく新たな給付として全国の自治体において実施されることが予定されている。

【再質問】対象となる施設の認可手続きはどうするのか。

【答弁】令和7年度の他市の実施状況を勘案しつつ、可能な範囲で本市に則した制度設計をし、条例整備を行い、その基準に合った対象施設を広く公募したうえで、認可対象となる園を決定していくことになる。

【再質問】市内に利用希望者がなくても提供体制の整備は進めなければならないのか。

【答弁】里帰り出産など、想定される利用について検討し、市外の方の受け入れと同時に市内の方が市外で利用されることも想定されるため、体制整備を進める必要があると考える。

【再質問】現状において直方市として「こども誰でも通園制度」をどのように受け止めているか。

【答弁】試行段階とはいえ、制度自体はかなり煩雑なものとなっており、現場だけでなく自治体の負担も大きいわりには効果が見込めないと考えている。



※『こども誰でも通園制度』～保育所等に通所していない6か月から満3歳未満の未就園児を対象としており、1人当たり月10時間の利用を上限としており、保護者の負担額を1時間当たり300円程度とした内容となっている。



《市議団の見解》答弁にもあるように、負担のわりには効果が薄い制度を全国一律で実施すべきなのか疑問である。子どもの安全と安定的な施設運営ができるのかも心配である。保育士の処遇改善とすでに実施されている一時預かり保育の拡大と充実に予算を振り向けるべきと考える。